

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市地域振興活性化事業補助金交付要綱
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり
	小項目	施策	01 観光
事務事業名		06 備前焼振興事業	
		問 担当課(室)	商工観光課
		合 職・氏名	観光係長 金藤 康樹
		先 電話	64-1832(274)
		このシート作成に要した時間 3.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	観光関係団体、観光客など	
目的(何のために)	全国に誇れる備前焼を観光資源として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼伝統産業会館等の利用者増	

事業の実績			Do
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前焼伝統産業会館管理運営事業	備前焼伝統産業会館の維持管理に要する経費(指定管理料)810,000円	
	備前焼陶友会補助事業	(協)岡山県備前焼陶友会に対する運営活動の補助。324,000円	
	備前焼まつり補助事業	備前焼まつり実行委員会に対して祭りの運営活動補助。2,000,000円	
	備前焼振興対策事業	我が国の伝統工芸品である備前焼の伝承、普及を図るため、イベントの開催等により備前焼のPRを行う。	
	六古窯サミット事業	日本のやきものを代表する六古窯産地の首長や関係者が一堂に会し、情報交換や、共同事業を通じた交流を行い啓発する。	
	伝統的工芸品産業振興協会費	(財)伝統的工芸品産業振興協会への加入負担金。50,000円	
	備前焼販路開拓事業補助事業	岡山県備前焼陶友会に対して、備前焼の販路開拓を図るため補助。960,000円	
	備前焼陶芸センター運営補助事業	備前焼振興のための新商品開発、人材育成、普及促進等を目的とし運営する施設運営の補助。2,400,000円	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	4,176	5,000	6,552	
	必要人員費	人員費	千円	0.58人	5,315	0.48人	
	事業費	事業費	千円	9,491	9,502	2,875	
	財源	国	支出金				
		受	益者負担				
		繰	入金				
		市	債				
		その他( )					
	一	般財源		9,491	9,502	9,427	
受	益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	会館等入館者	説明	人	備前焼伝統産業会館及び岡山県陶芸美術館入館者数		
	結果指標量			45,758	38,622	38,137
	対前年比	%		80.0%	104.1%	
	活動コスト	円		9,291,000	9,502,000	9,427,000
単位当たりコスト			203	259	247	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
備前焼伝統産業会館等の利用者数	目標値(A)	70,000	70,000	70,000	70,000	
	実績値(B)	45,758	38,622	38,137	到達目標値	
	達成率(B/A)	65.37%	52.32%	54.48%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
備前焼伝統産業会館及び岡山県陶芸美術館入館者数						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	有効性の評価	目的達成度 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	多様化する顧客のニーズに対応するため、関連団体と連携を取りながら各種媒体を利用し備前焼のPRを行い、備前焼の振興と観光客の誘客を促進する。						

総合評価		総合評価
我が国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は非常に高い。今後も効果的なPRを行い、観光客の誘客増を図る。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	情報発信を行うことが重要で、広報誌やインターネット等各種媒体を活用したPRを積極的にを行い、陶友会等関係団体との連携を図りながら、販路を開拓していく必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな

Check

Action